令和2年度 第1回文化財保護審議会 議事要旨

- ◆日 時 令和2年9月7日(月)15~16時
- ◆会 場 生涯学習センター2階 学習室2
- ◆出席者 委員:田口委員(委員長)、佐藤委員(副委員長)、根上委員、渡邉委員、

長谷川委員、勝又委員、倉澤委員

風間教育長

事務局:大塚課長、勝又主査、志田主任

- 1. 開 会 (事務局)
- 2. 教育長あいさつ
- 3. 委員長あいさつ
- 4. 報告事項
 - 文化財保存活用地域計画について

(事務局説明) 平成 31 年 4 月 1 日に文化財保護法が一部改正され、市町村が文化財の保存活用 に関する総合的な計画を作成し、文化庁長官の認定を申請することができるようになった。令和 2 年 3 月に静岡県は文化財保存活用大綱を作成し、県内市町の地域計画作成を推進していく姿勢 である。裾野市としては作成するかどうか現在検討中である。

田口委員:ここでいう文化財とは、指定文化財だけか、未指定も含むか?

事務局:未指定の文化財も含める。

- 5. 協議事項
 - 令和2年度事業計画について
 - ・「楽しい郷土史だより」の作成

事務局:昨年作成できなかった「楽しい郷土史だより古道編」の続きを今年度発行する。長谷川委員に編集委員長を承諾いただいたので、事務局と田口委員長と長谷川委員で原稿案を作成し、編集会議を開催する。

長谷川委員:郷土史だよりで古道の特集は今後も続けていくのか?

事務局:前号が甲州道の途中で終わっているので、その続きは発行すべきだと考えている。その次にまた古道をやるのか、別のテーマにするのかは決まっていないが、何かしら郷土史だよりの発行は続けていきたい。

長谷川委員:3~5年くらいの内容の計画を決めておいた方が良い。委員もそのつもりで準備することができる。

・深良用水世界かんがい施設遺産登録6周年記念事業について

事務局:周年事業をいつまでやるべきか、という問題がある。今年度は深良用水通水 350 周年に当たるので、何かしらの事業はやったほうがよいと考えている。

田口委員:まだ数年分の企画は考えられるが、その後は同じ内容の繰り返しになってしまうだろう。10周年が区切りとして良いのではないか。今年は350周年記念イベントが予定されているので、そこにあわせてできればいいと思う。

勝又委員:区切りとしては10年というのはいいのかなと思う。ただ、350周年のイベントはコロナの関係でほぼできないような状態。

田口委員長:そうすると、こちらの事業も難しいかも。事務局と再検討する。

・深良用水特別展示室と若山牧水展示室の展示見直し

事務局:文化センターの展示室について、田口委員長から提案があった。

田口委員:昨年、記念誌を作る際に、絵図など許可を得て掲載しているものがある。同様の手続きで許可を得れば、展示室に掲示可能なはず。当時の雰囲気が伝わるようになると思う。また、牧水展示室も長年そのままで写真が色褪せたりして展示物としてどうかというような状態。写真を入れ替えるなどしたら良いと思う。

事務局:できるところから取り組んでいきたい。展示室について、他の委員の方々からもアイデアや要望等あれば教えてもらいたい。

・ 旧植松家住宅内設備の見直し

事務局: 旧植松家住宅内部も公開にふさわしくないようなものが置かれている状況である。

田口委員:「かまど」が建物内に置かれているのは、建築当初の頃(江戸時代)と時代が合わないと思う。その他の古民具でも時代が合っていないものがある。見学した子どもが勘違いするのではないかと心配。

倉澤委員:時代を経て生活しているうちに、建築当初の姿と変わってくるのは仕方ないこと。説明書きを設置すればよいのではないか。

事務局:古民具については、特に時代考証をせずに置いているものもあるようだ。精査して、改善していきたい。

・学校向け出前講座メニューの作成

事務局: 市内の遺跡から発掘された土器などに触れて学んでもらえるような、出前講座メニューを準備中である。また、文化財保護審議会委員の方々にも、それぞれの得意分野で出前講座をしてもらうことができれば良いと考えている。

倉澤委員:子ども向けも良いが、教員も地元の人間は少なくて、地域のことを知らない人が多いので、教員に向けたものも必要だと思う。夏休みに新規採用の教員を集めてレクチャーするなど。他市でやっているところがあるし、裾野市でもかつてはやっていたはず。今また必要度が増していると思う。また、土器だけでなく、地域の石造物などにも興味を持ってもらいたい。学校周辺にある歴史的なものをピックアップしてみてはどうか、資料は市史編纂時代にまとめたものがあるはず。

田口委員長:出前講座のメニューについては、学校側の要望等を確認して、それに応えられる内容を、というふうにした方が良いと思う。

6. その他連絡事項

7. 閉 会 (事務局)